

目標達成計画

作成日：平成 26 年 5 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 17 | ホーム内でのレクリエーションが少なく入居者・家族様より取り入れて欲しいと希望がある。現状では入浴が午後で開催しており、一番時間が多く取れる午後の時間の使い方の検討が必要です。 | 入居者の方が暇を持て余す時間を軽減し、楽しい時間を皆で過ごすように支援していきます。 | 業務内容(入浴業務)の見直しを行い、レクリエーション等を行う時間を増やす。具体的には、現在入浴は午後に行っている事と、毎日入浴を行っている事で時間が足りない現状となっているので入浴業務の見直しをして行く。 | 3月 |
| 2 | 5 | 建物の立地条件上正面玄関の施錠を行っている。具体的には、目の前に県道が通っており交通量も激しく重大な事故の可能性がある。また帰宅願望や不穏時に一人で出て行かれる事を予測しての施錠となっています。 | 入居者が外に出たい時に出れるような環境の整備。取り急ぎ日中だけでも正面玄関の開放を行っていきたい。 | 施錠を行うのであれば、家族・保証人様に同意を得る事を考えています。また運営推進会議等で近隣の住民代表者や家族様に同意を行っていく。その他、拘束感を与えないような対応を実施していく。 | 6ヶ月 |
| 3 | 12 | 入居者の重度化に対する取り組みが不十分である。重度化についての指針等は作成されているが、リスク管理等について軽視しがちになっています。 | 入居している方の家族様・保証人様に説明等を随時行う事と現状ご本人様がどういう状態であるか常時報告する。それに付随し重度化した際に入居者・家族様が困らないように話し合いを持ち安心して暮らせるように支援していく。 | 必要に応じて家族様・保証人様とカンファレンスを行い、重度化の指針を理解していただき同意を得ていきます。また、当法人にも特別養護老人ホーム等のサービスを行っているので必要に応じて活用していく。 | 6ヶ月 |
| 4 | 13 | 災害時に近隣の住民等の避難場所として活用した場合の現状の備蓄品では足りない状態です。 | 災害時等が発生した場合、入居者・近隣の住民がライフラインが復旧するまでの数日間過ごせる備蓄品を確保する。 | 平成26年4月の給食会議で、災害時の食事として主食・副菜(缶詰等)の試食会を行い、見積み等の折り合いが決まったので随時補充して行く。 | 3ヶ月 |
| 5 | | 地域密着型サービスを実施していますが、現状は地域の方と交流がない現状です。 | 町内会の参加や、地域の催事など入居者の方と一緒に参加していく。 | 町会長さんや、隣接している住民の方などコミュニケーションを図り率先して活動に参加していく。 | 3ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。